



「私の演劇は、イメージ、サウンド、そして観客による主体的解釈を促す演劇的仕掛けが往来する、ある種複雑な舞台装置の構築に根ざしています。私が提唱する手法を通して創造のプロセスとは何かを考えていただける機会となれば幸いです。」

エミリオ・ガルシア・ウェービ

●ワークショップについて

「ハムレット」を題材に、上演プランをブラッシュアップしていく。まず、ウェービ氏の演出手法を作品映像やテキストを通しシェアしながら、「演出家の役割」を考える。次にハムレットを精読分析し、各自の演出イメージを画像などで共有。最終日にはそれぞれの上演プランの成果発表を行う。「古典であるハムレットを現代の我々が上演する際、どのようなやり方が可能か?」という方針のもと、練り上げていく。

●エミリオ・ガルシア・ウェービ 経歴

1964年生まれ。実験的な独立演劇集団「El Periférico de Objetos」を1989年に立ち上げて以来、演出家、舞台監督、パフォーマー、俳優、ビジュアルアーティスト、教師として活躍。独学でキャリアを積んできたアーティストであり、「舞台言語の十字路口」で仕事をしている。彼の創作は演劇、パフォーマンス、オペラ分野とかなり多岐に渡り、観客を主体的に変化させる演出は、世界的な評価も高い。死体や浮浪者と見まがうばかりのリアルな人形を都市に介させ、それを発見した人々の反応を通じて、現代社会の諸問題を考察する『ピロクテテス・プロジェクト』を初め、その前衛的で挑戦的なプロジェクトや作品は常に世界のアート界に大きな衝撃と賞賛を持って迎えられてきました。



in 京都 10/30(火)→11/4(日)

10月30日(火)～11月2日(金) 19:00～22:00
11月3日(土) 13:00～17:00
11月4日(日) 13:00～15:00

- ◆ 成果発表会 11月4日(日) 15:30～17:00
 - ◆ レクチャー&シンポジウム 11月4日(日) 18:00～21:00
- 基調講演「演出家の役割について」エミリオ・ガルシア・ウェービ
司会：田尻陽一(関西外国語大学名誉教授)
パネラー：あごうさとし(劇作家・演出家、アーツシード京都代表理事)

【京都会場】KAIKA 京都市下京区岩戸山町440 江村ビル2階



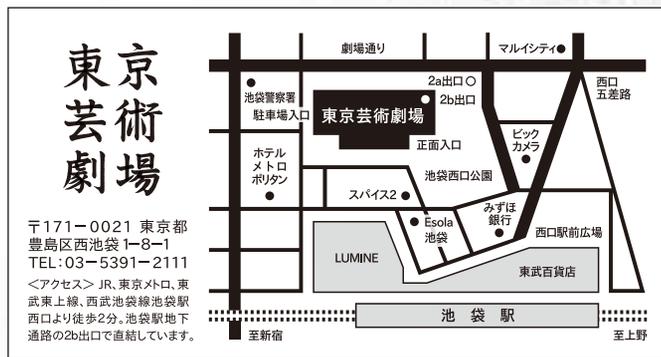
阪急京都線「烏丸駅」23番出口、京都市営地下鉄「四条駅」6番出口より、南西へ徒歩8分、新町高辻交差点の北西角、1Fがファミリーマートの建物
※会場に駐車場・駐輪場はございません。恐れ入りますが、公共交通機関をご利用ください。

in 東京 11/6(火)→11/11(日)

11月6日(火)～11月10日(土) 13:00～18:00
11月11日(日) 13:00～15:00

- ◆ 成果発表会 11月11日(日) 15:30～17:00
 - ◆ レクチャー&シンポジウム 11月11日(日) 18:00～21:00
- 基調講演「演出家の役割について」エミリオ・ガルシア・ウェービ
司会：鴻英良(演劇評論家)
パネラー：高山明(演劇ユニット Port B 主宰、演出家)

【東京会場】東京芸術劇場 シンフォニースペース



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111
<アクセス> JR、東京外環、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。

【参加費】ワークショップ(6日間)5,000円(協会員4000円) / シンポジウム&ワークショップ見学(一回)500円(協会員無料)
【お申込方法】①お名前(フリガナ) ②連絡先(電話番号、メールアドレス) ③年齢 ④略歴をお送りください。
✉ jda.iad.info1@gmail.com 問合せ先：東京080-3152-1182(柏木) 京都090-8208-9226(中谷)
申し込みフォームのアドレス <https://ws.formzu.net/fgen/S86596349/>

WS申込締切 10月20日(土)

申し込みフォーム

